

## 令和7年度 第3回 岸和田市観光振興計画推進委員会

- 1 日時 令和8年3月17日(火) 午後3時30分～午後5時30分
- 2 場所 岸和田だんじり会館1階会議室
- 3 出席者
  - 【学識経験者】石田信博、徳山美津恵、佐野楓
  - 【公共的団体の代表者】阪口寿子、太田享之、山本義治、藤浪勝三
  - 【関係団体の代表者】塩見正成、田邊真、杉田精教
  - 【オブザーバー】小嶺 大輔
  - 【欠席者】西村令子、上田貴司、西崎玲圭
  - 【事務局】船橋魅力創造部長、井上観光課長、西村担当長、甲地主査、出口担当員
  - 【傍聴者】1名

### 次第

- 1 開 会
- 2 議 事
  - (1) 令和7年度実施事業の報告について
  - (2) 中間検証に係る調査項目について
  - (3) その他
- 3 閉 会

### 配布資料

- 次第
- 配席図(資料①)
- 令和7年度実施事業の報告(資料②)
- 意見シート取りまとめ(資料③)
- 各事業の達成度一覧(資料④)
- 中間検証に係る調査項目(資料⑤)
- 令和8年度観光振興計画推進委員会スケジュール案(資料⑥)

## 1 開会

## 2 議事

### (1) 令和7年度実施事業の報告について

#### ●事務局

資料②をもとに、令和7年度実施事業について報告

#### ① 基本方針1のプロモーション強化を報告（シート1～5）

#### ●委員（I）

観光情報の発信の強化については、各市町が単独で取り組むのではなく連携して取り組むことが必要。

淡路島、神戸市は泉州地域と同じくらいの規模である。泉州地域もそれぞれ負けていないが泉州地域一体となって観光施策に対して取り組めていない。

KIX 泉州ツーリズムビューローの役目は大きく、活用を通じて、岸和田市が中心となって泉州市町全体で観光施策に取り組んでほしい。

#### ●事務局

事業を実施し、効果を見ていくうえで、広域連携の重要性は認識していますので、今後も継続して KIX 泉州ツーリズムビューローと協議していきたい。岸和田市として今後どのようなことを働きかけていけるか考えていきたい。

#### ●委員（G）

ウェブ検索の方法について、AIが発展したことにより大きく変化している。AI検索により、ウェブサイトの閲覧数は減少傾向である。構造化、結論ファースト、複数のサイトで網羅的に書かれているか等 AI 検索の仕組みについて考える必要がある。

#### ●事務局

長く続いているイベントでは AI 検索においても一定の露出が確認されており、AI は信頼度が大切と認識している。引き続き正しい情報を発信していきたい。

●副委員長

インスタグラムのフォロワーは増えているが、その他の SNS のフォロワーが増えていないのはなぜか。

●事務局

インスタグラムについては 市職員の名刺に QR コードを付けたり、観光 PR の出展先でフォロー依頼を積極的に行った結果である。その他の SNS フォロワー数を増やすにはどのようにすれば良いか。

●副委員長

能動的なフォローに結びつくようにすることが大事。フォロワーが増えたタイミングはどんな投稿がきっかけなのか分析が必要。ある地域では置き手紙戦略という取り組みを実施し、ネット記事なるようメディア取材を積極的に受けることで結果的に AI にひっかかるという好循環が生まれていた。

●事務局

インスタグラムでは、祭関係の投稿に対し閲覧・いいね数が多い。他にも牡蠣等食に関する投稿も延びる傾向にある。今後、分析に取り組んでいきたい。

●委員(A)

SNS ではインサイトを確認することが大切。どういうところから流入してきたのか、どういう属性の方がどのような投稿に興味を持ったのか等の分析が必要。

●事務局

分析までできていないのが現状。今後分析にも取り組めるよう進めていきたい。

② 基本方針 2 の観光コンテンツの強化を報告 (シート 6 ~ 9)

●副委員長

だんじり小屋巡りウォークについて、参加者の属性はどうだったか。

●事務局

女性 30%、男性 68%、居住地については 岸和田市内 39%であった。また、府内や近隣府県、徳島からも参加いただいている。

●副委員長

夫婦で来たのか、一人での参加なのか、歴史マニアの男性が多いのか等 詳しく分析し改善に役立ててほしい。

●委員(B)

だんじり小屋巡りウォークについては、祭礼前以外でも大阪デスティネーションキャンペーンを活用し全国展開を実施し、広島、東京等からも参加いただいた。8月には池田泉州銀行様の顧客限定で特別ツアー設定した。今後は、ターゲットに届くよう広報に努めたい。

●委員(G)

バスツアーについて、民間事業者からツアー造成について問い合わせがあったことは素晴らしい。アンケート結果から買う、食べることに重点を置いている方が多いことから、ふるさと納税との連携をしてはどうか。

忍者コンテンツとは何なのか具体化できていないのが課題である。

●委員(F)

岸和田と忍者との関連性を深掘りしていくことが必要。また、万博に来場した方のうち、どのくらい岸和田市へ流入があったのか。岸和田市への来訪についてレポートにつながる施策が必要。

●委員(事務局)

万博期間中、岸和田城の入場者数は増化している。山側地域の歴史資源の活用も重要と認識している。ふるさと納税について桃に限らず再訪につながるよう意識していきたい。大阪泉州牡蠣フェス in 岸和田についても漁業協同組合様の協力のもと盛況であった。名物や特産品のPRのみならず、それらが食べられる店舗や場所のPRも同時に行っていく必要があると認識している。

●副委員長

サイクルイベントについて、市民の盛り上がり成功の鍵である。「サイクルのまち」という印象付けを意識し、次世代の観光のひとつの軸になるよう進めていく必要がある。

③ 基本方針3の受入体制の整備・充実を報告(シート10~12)

●委員(J)

岸和田城だけでファンを増やすのには限界がある。他の団体と協働でPRしていくのほど

うか。忍者のコンテンツとしても、伊賀・甲賀と一緒に取り組んでみてはどうか。

●事務局

これまでなかったコンテンツとして、お城まつりでは内堀で船浮かべる予定。全日本忍者手裏剣打選手権大会では伊賀・甲賀で活動されている方との縁もあったので、少しずつ進めていきたい。

●委員(J)

あるツアーでは、テレビに取り上げられたことで、申し込み数が約5倍となった。ターゲットの性質によって宣伝の仕方を変えていくことが大切である。

●委員(E)

祭のコンテンツとしての通年化を進める必要がある。また、だんじり祭の宵宮前日の試験曳き後の18時～20時頃が落ち着いてだんじりを見て祭りの雰囲気を感じることができるので、今後の祭りの広報に活用できないか。

●委員(F)

だんじり会館に展示しているだんじり3台の彫り物が素晴らしいことがよく知られていないと感じる。よく見た人は素晴らしさに驚いている。そのような良さを伝えられるようにしていただきたい。

●事務局

祭礼時以外でも祭りの雰囲気を体感していただくために、各町だんじり小屋にやりまわし動画等見ることができるQR付プレート順次取り付けを実施しています。

## (2) 中間検証に係る調査項目について

●事務局

資料⑤及び③-2をもとに、観光創造ビジョン・岸和田の中間検証に係る項目の説明と、それに対する事前の意見と回答をご報告

●副委員長

アンケート調査の際の回答者の属性を男女別や年齢別に分けて細分化を進めるごとに1項目あたりのサンプル数が少なくなるので、適切なサンプル数を確保できるよう検討いただきたい。留め置き調査は、回答してもらおうのが難しいと思うが、アンケートの回答と引き換

えにノベルティやお菓子を配布することで回答数が増える事例もあるので参考にさせていただきたい。また、AIを活用した複数のデータの関連付けを行うこともできるようになってきているので、参考にしてほしい。

●事務局

データの収集について、細分化することで費用が上がると思うが、今の傾向としてネット調査は費用が下がっているのか。

●副委員長

全て業者に丸投げすれば当然費用は高くなる。ただし、市が調査設計できる前提では、ネット調査であれば費用を抑えることが可能だと思う。

●事務局

次年度、仕様書を作成していく中で本市として必要なデータを取得できる手法を考えていきたい。

### (3) その他

●事務局

専門家派遣事業（岸和田の観光まちづくりを考える）について報告

●事務局

資料⑥をもとに令和8年度観光振興計画推進委員会スケジュール案について説明

●委員長

・本日の推進委員会を閉会する。